

創価大学  
国際仏教学高等研究所

*The International Research Institute for Advanced Buddhism  
Soka University*

〒192-8577 東京都八王子市丹木町 1-236

1-236 Tangi, Hachioji, Tokyo, 192-8577, JAPAN

Office Phone: (+81-42)691-2695

Fax: (+81-42)691-4814

E-mail: [iriab@soka.ac.jp](mailto:iriab@soka.ac.jp)

URL: <http://iriab.soka.ac.jp/>

平成 28 年 7 月 13 日

御案内

## 第 75 回 国際仏教学高等研究所・仏教学懇話会

(平成 28 年 8 月 4 日)

### 梁麗玲博士

(銘伝大学教授；関西大学東西学術研究所招聘研究員)

「仏典の動物説話の伝播と発展

—— “雁が亀をくわえて運んだ話”を例として」

拝啓 盛夏の候となりましたが、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、関西大学東西学術研究所の招聘研究員としてご滞日中の台湾、銘傳大学教授、梁麗玲博士を講師にお迎えして懇話会を開催することになりました。

博士は、国立中正大学・中国文化研究所で博士号を取得後、銘伝大学・中国文学部で教鞭をとられています。博士は、漢文資料を使った仏教説話研究、敦煌文献研究、民族文化研究の分野で優れた業績をあげられています。

今回は「仏典の動物説話の伝播と発展——“雁が亀をくわえて運んだ話”を例として」(佛典動物故事的傳播與發展——以「鴈銜龜」故事為例)というテーマで、話をして頂きます。

この物語は、もっとも有名なインド説話の一つです。亀と雁たちが仲良く棲んでいた池が干上がったとき、二羽の雁は、一本の棒を亀にかませて、自分たちはその棒の両端をかんで、空を飛んで、亀を遠くの池まで運ぶことにしました。決して口をあけないように言



われていたにもかかわらず、地上からのからかいに答えようと口をあけた亀は、地上に落ちてしまいます。このお話は、ジャータカ・仏教律文献・仏教説話文献・パンチャタントラ・カターサリットサーガラなどから、西はフランスのラ・フォンテーヌの『寓話』、東は我が国の『今昔物語』にまでと、広く伝承されています。

今回は、この物語のインド・中国（敦煌文学・民間文学を含む）・日本への伝承と変遷について、語って頂きます。時間があれば、本来仲むつまじい雄牛とライオンを仲違いさせ、殺し合わせた「二枚舌のジャッカル」（野干兩舌）の説話についても話して頂く予定です。

なお当日は、日本語原稿を準備し、通訳が付く予定です。ご興味のある方はどなたでも自由に聴講し、質問をして下さい。ご参加頂ける方は、予め本研究所までご一報下されれば幸いに存じます。

日時： 平成 28 年 8 月 4 日（木） 午後 3 時～午後 5 時

場所： 創価大学 中央教育棟 西棟 12 階 第 8 会議室

## 梁博士主要学術著作

### 著書：

『《雜寶藏經》及其故事研究』，台北 1998：法鼓文化出版社（中華佛學研究所論叢，15）。

『《賢愚經》研究』，台北 2002：法鼓文化出版社（中華佛學研究所論叢，34）。

『漢譯佛典動物故事之研究』，台北 2010：文津出版社（文津佛學論叢）。

### 論文：

- （一）敦煌学関係：「敦煌文献中的護産信仰研究」、「敦煌文献中的護童信仰」、「敦煌文献中的孕産習俗與佛教信仰」など
- （二）仏典故事関係：「佛經『不識影』故事的傳播與發展」、「佛典「尊年長」故事的傳播與影響」、「佛典『老貓坐禪』故事的流傳與發展」、「佛典「野干兩舌」在中國民間故事的流傳」、「佛經「雁銜龜」故事在中國的流傳與影響」など。
- （三）仏教文献関係：「歴代僧傳中「感通夢」的書寫與特色」、「漢譯佛傳經典中的夢兆研究—以入胎夢為例」など